

第 4 回

学生生活実態調査

結果報告書

2023 年度・令和 5 年度

桐生大学・桐生大学短期大学部

2024 年 2 月実施

目 次

序 章 調査の概要

第Ⅰ章 基本的事項

1～3. 調査対象人数及び回収率

第Ⅱ章 学業・学習環境

4. 学内ではどこで勉強していますか(複数回答可)
5. 1週間の予習・復習(作品制作などを含む)の時間は合計でどのくらいですか(記入例：1時間)
6. 講義室・実験室などの教育環境には満足していますか
7. 図書館を利用しましたか
8. 図書館の利用頻度はどのくらいですか(記入例：月5回、週2回等)
9. どのような目的で利用していますか(複数回答可)
10. 主にどの分野の図書を利用していますか(複数回答可)
11. 図書館の開館は何時までがいいと思いますか(複数回答可)

第Ⅲ章 課外活動

12. どのようなサークルに入っています(入っていました)か(複数加入している場合は主に活動しているもの)
13. サークルに入った理由はなんですか(自由記述)
14. サークルでは1週間当たりどれくらい活動しますか
15. サークル活動と勉強は両立してますか
16. 今年度の大学祭に参加(出席)しましたか
17. なぜ大学祭に参加(出席)しなかったのですか(自由記述)

第Ⅳ章 ボランティア活動

18. ボランティア活動をしたことがありますか
19. ボランティア活動の情報をどこから入手しましたか
20. 実際に行ったボランティア活動はどのような内容のものでしたか(複数回答可)
21. ボランティア活動に何回参加したことがありますか(記入例：1回)
22. ボランティア活動に参加してどうでしたか
23. どのようなボランティア活動に興味がありますか(複数回答可)

第Ⅴ章 アルバイト

24. アルバイトについてうかがいます
25. どのようなアルバイトをしていますか(していましたか)
26. アルバイトは1週間の平均で何時間くらいやっていますか
27. アルバイトの情報をどこから入手しましたか(複数回答可)
28. アルバイトと学業は両立していますか
29. アルバイトをしてどうでしたか(複数回答可)

第Ⅵ章 学生生活

30. あなたは喫煙しますか
31. 学内は全面禁煙である事は知っていますか
32. 現在、何かに悩んでいることがありますか
33. どのようなことに悩んでいますか。(記入例：学業に関する不安・人間関係等)

34. 悩みがあると、誰に相談しますか（記入例：保護者等）

35. 保健室がある事を知っていますか

36. 保健室を利用した事がありますか

37. 保健室を利用した時の印象はどうでしたか

第Ⅶ章 進路(就職・進学)

38. 卒業後はどのような進路を考えていますか

39. 卒業後、どのような職業に就きたいですか(複数回答可)

40. 就職する地域はどこを希望していますか

41. 本学の就職のサポート体制に満足していますか

42. 就職の相談は誰にしますか

43. 本学の就職のサポート体制に対してどのようなことを希望しますか(複数回答可)

第Ⅷ章 住居・通学

44. 住んでいるのは自宅ですか。自宅以外ですか

45. 自宅以外なら、どのような所ですか

46. 本学まで主にどのような交通手段を使っていますか(複数回答可)

47. 自動車で通学している場合、どこに駐車していますか

48. 通学にかかる片道の所要時間はどれくらいですか

第Ⅸ章 食生活

49. 朝食を摂っていますか

50. 朝食を摂らない理由は何ですか

51. 昼食はどのようにしていますか

52. 夕食はどのようにしていますか

53. エレガンテ(売店)は週にどれくらい利用していますか

54. エレガンテ(売店)を利用しない理由は何ですか(複数回答可)

第Ⅹ章 その他

55. 本学は自由に外部の人が出入りできるようになっていますが、それによって学内で身の危険や不安を感じたことがありますか(大学周辺も含む)

56. どこで、危険や不安を感じたか具体的に記入してください

57. 本学は自由に外部の人が出入りできるようになっていますが、それによって学外で身の危険や不安を感じたことがありますか(大学周辺も含む)

58. どこで、危険や不安を感じたか具体的に記入してください2

59. ジェンダーバイアス(男女の違いによって生じる偏見、評価や差別)を感じたことがありますか

60. どのような場面で感じたか具体的に記入してください

61. 大学からの学生への情報の発信の媒体として何がいいと思いますか(複数回答可)

62. 桐生大学内の生活の中で、不満に思うことはありますか(特にない場合は特になしと記入してください)

63. 桐生大学内の生活の中で、大学に対して改善してほしい点がありますか(特にない場合は特になしと記入してください)

64. 協力ありがとうございました。意見などがあったら、記入してください(特にない場合は特になしと記入してください)

巻末資料

1. 委員会の構成メンバー

2. 総括

桐生大学・桐生大学短期大学部教育組織概説図

医療保健学部(4年)
看護学科
栄養学科

短期大学部(2年)
生活科学科
アート・デザイン学科

別科(1年)
別科助産専攻

序章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、桐生大学・桐生大学短期大学部の学生の生活実態を把握し、今後の学生のための厚生施策の充実、教育・研究環境の改善及びサービスの向上等に役立たせるための資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査の実施

学生へのより良いサービス向上等に資するため学生委員会において、調査内容の企画立案、調査票を作成し、実施した。

3. 調査の対象

令和6年1月現在で本学に在籍している全学生を対象とした。

ただし、休学者、研究生、聴講生及び科目等履修生の学生は除いた。

4. 調査の時期

令和6年2月1日(木)～2月29日(木)

5. 調査の方法

学生ポータルにて開始を案内し、Microsoft Formsにて実施した。対象者が設問に解答していく方式とした。

調査結果の概要

2024 年 2 月、「学生生活実態調査」として、学生の経済的状況、学習状況、課外活動、生活全般、将来の希望進路についてアンケート調査を実施した。今年度（2023 年度）で、4 回目の実施となる。778 名の調査対象学生に対して今回の調査では 119 名から回答を得た。

2024 年 1 月に学生委員会場で教員を通じて学生への回答を呼びかけるよう伝えたが、あまり効果がなかったように思われる。それでも多くの具体的な要望等が寄せられており、今後の大学・短大部運営で参考にしていければと思っている。

以下に、調査結果の概要を示す。

学修状況・学習環境：学生は教育環境におおむね満足している。勉強する場所として、11 号館レストランのラウンジや、空き教室などが挙げられる。所属する学科の実習室、図書館なども活用している。勉学の時間には、大学の授業の復習やレポート作成に時間を費やしている。コンピュータ室を利用する学生も多い。

課外活動：体育系サークルや文科系サークルに約 1 割の学生がそれぞれサークルに所属している。サークル活動の時間は、一週間で 2 時間以下である。講義に加え、実習や演習、実技の課題、アルバイトなどがあり、サークル活動に費やす時間の確保が難しい状況がある。大学祭への参加は 8 割から 9 割の学生に上る。大学祭への参加率は高い。

ボランティア活動：ボランティア活動にかかわりのある学生はそれほど多くない。しかし、機会があればボランティア活動に参加してみたいという学生も一定数はいる。ボランティアは有意義な活動であるから、大学としてボランティア活動について情報をあつめ、授業時間とリンクさせて、自発的に活動できるような体制づくりを目指したい。

学生生活：学業面での不安や経済的な困難を抱えている学生が一定数いる。現在、各クラスに担任や副担任をつけて学生の生活相談にのってもらえるようにしているが、より手厚いサポートが実現できるよう考えていかねばならない。

進路：本学ではほとんどの学生・短大生が就職を希望している。看護師や管理栄養士、栄養士、助産師のほか、デザイナーや医療事務の仕事に就くなど、大学・短大で学んだ知識や技能、得た免許や資格を生かすケースが多い。各学年でキャリアガイダンスを行っているが、内容をより充実するなど対策が求められる。

住居・通学：本学に通う学生の 8 割が自宅から通学している。2 割がみどり市や桐生市でアパート借り一人暮らしをしている。車で来ている学生と、大学のバスを使って登学している学生が多い。通学時間は、30 分から 1 時間以内の学生が 6 割であるが、なかには 2 時間ちかくかけて大学に来ている学生もいる。

アルバイト：7 割程度の学生が、アルバイトをしている。アルバイト先として飲食業や販売業が多い。アルバイトをしている学生のうち、半数が一週間に 10~20 時間程度のアルバイトをしている。学生にとって社会勉強になっているが、学業に支障をきたさない範囲でアルバイトをするようクラス担当教員が指導している。

食生活：7 割程度の学生が朝食を食べてきている。大学の周囲には飲食店や衣料品店などがあり、学生が生活するうえで利便性が高い。レストランで昼食を買って食べる学生も多い。

その他：学生の連絡手段が情報通信メディアを中心としたものに変化している。大学からの諸連絡が遅いという意見が多く、通信メディアが発達した現代にあって、学生はより迅速な対応を大学に求めるようになってきている。としても授業休校や行事の実施等の連絡が速やかに行えるよう、情報機器数を増やすなど充実に努めなければならないと考える。

第Ⅰ章 基本的事項

1～3. 調査対象人数・回収率

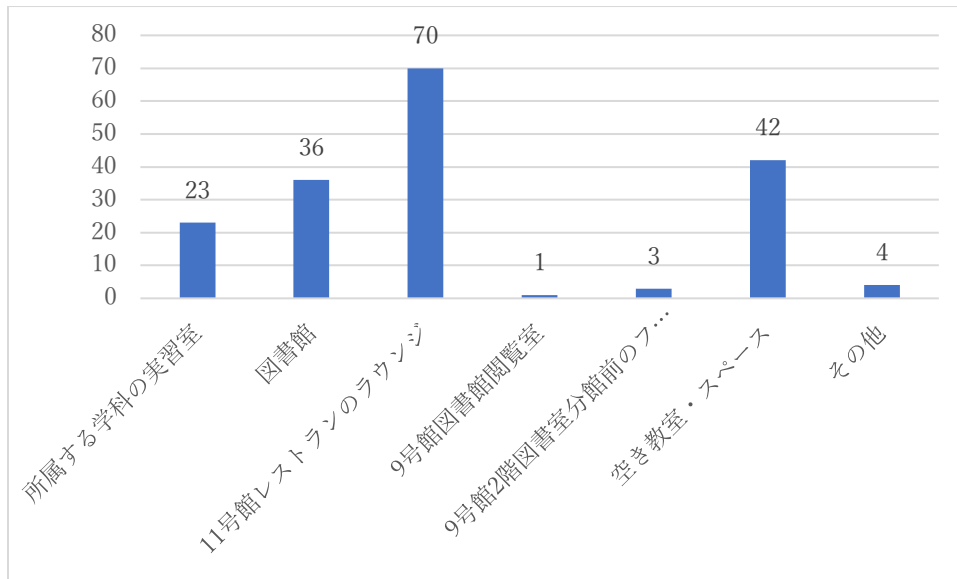
対象学生 778 人に対して、119 人からの回答を得た。回収率は、全体で 15. 2%であった。

学科名	対象学生人数(人)	回収数(人)	回収率(%)
看護学科	337	20	5.93
栄養学科	238	62	26.0
別科助産専攻	18	2	11.1
生活科学科	70	25	35.7
アート・デザイン学科	115	10	8.69
全体	778	119	15.2

第Ⅱ章 学業・学習環境

4. 学内ではどこで勉強していますか(複数回答可)

11号館レストランのラウンジを利用する学生が多いようです。

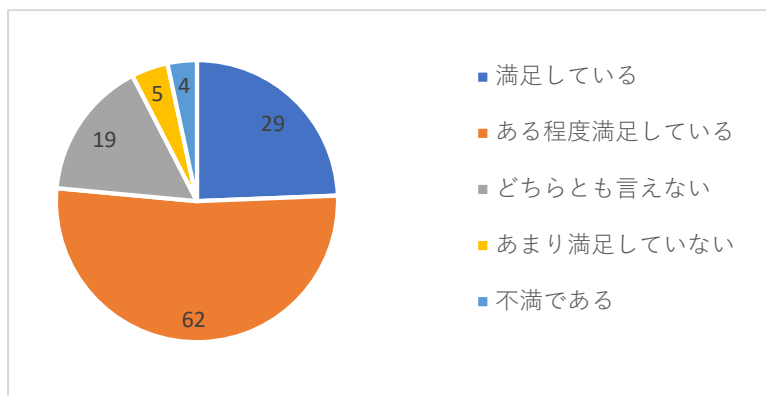


5. 1週間の予習・復習(作品制作などを含む)の時間は合計でどのくらいですか(記入例：1時間)

個別の回答をみると時間がそれぞれ記述がありました。

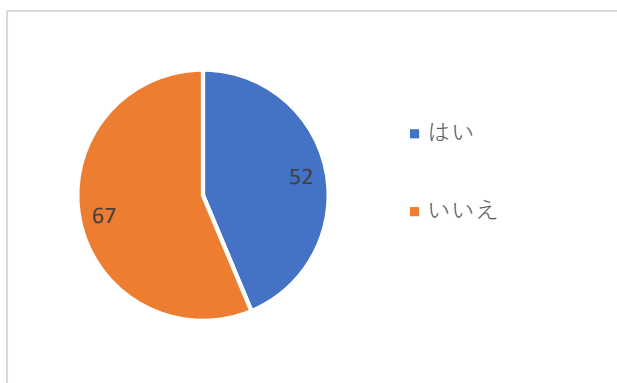
6. 講義室・実験室などの教育環境には満足していますか

講義室・実験室などの教育環境には、ある程度満足しているという回答が多かったようです。



7. 図書館を利用しましたか

回答者の半数以上がいえであった。全学生数に当てはめて考えても、図書館の利用率は全体的に低い傾向があると思われる。

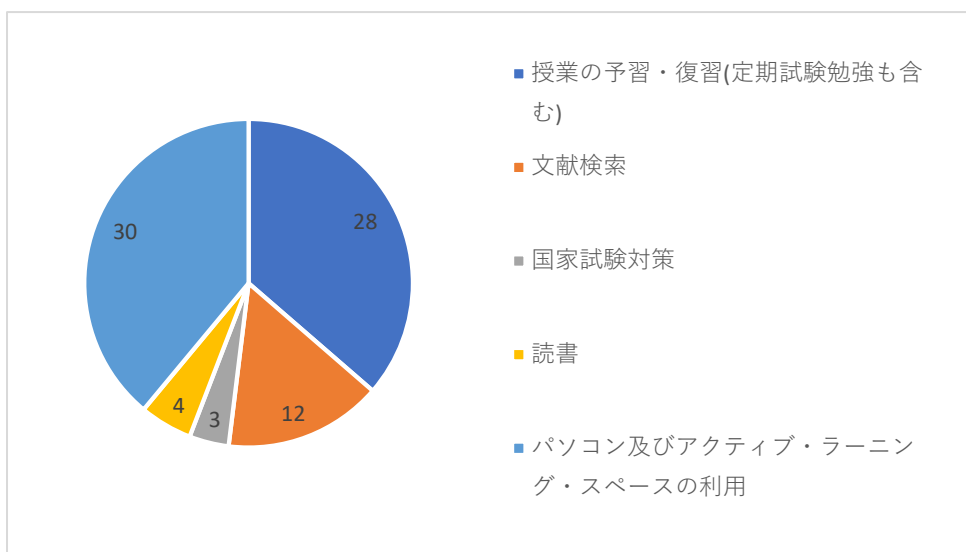


8. 図書館の利用頻度はどのくらいですか(記入例：月5回、週2回等)

利用回答者（はい：52名）の内4割強が週1以上の利用頻度であった。

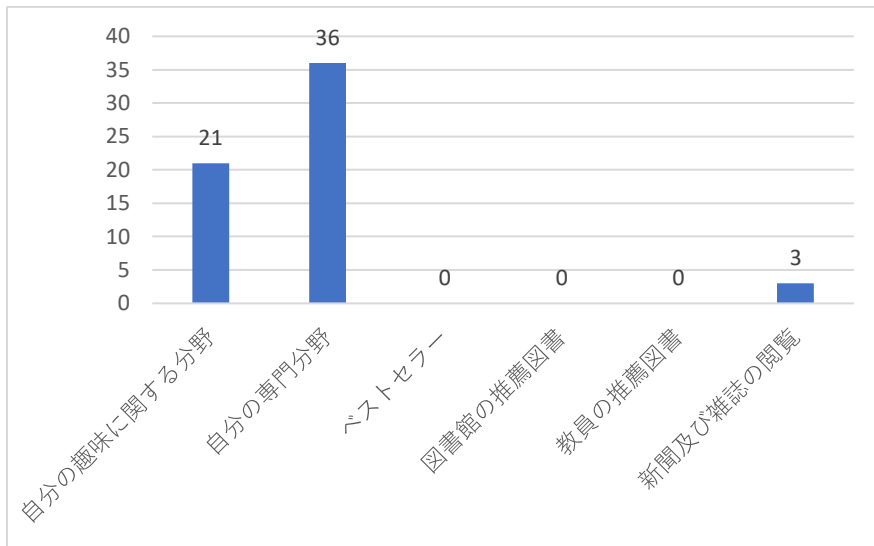
9. どのような目的で利用していますか(複数回答可)

多い順に、①授業の予習・復習、②パソコン利用、③文献検索 であった。教室や共有スペース以外での学習環境（個人スペース）として利用していると思われる。



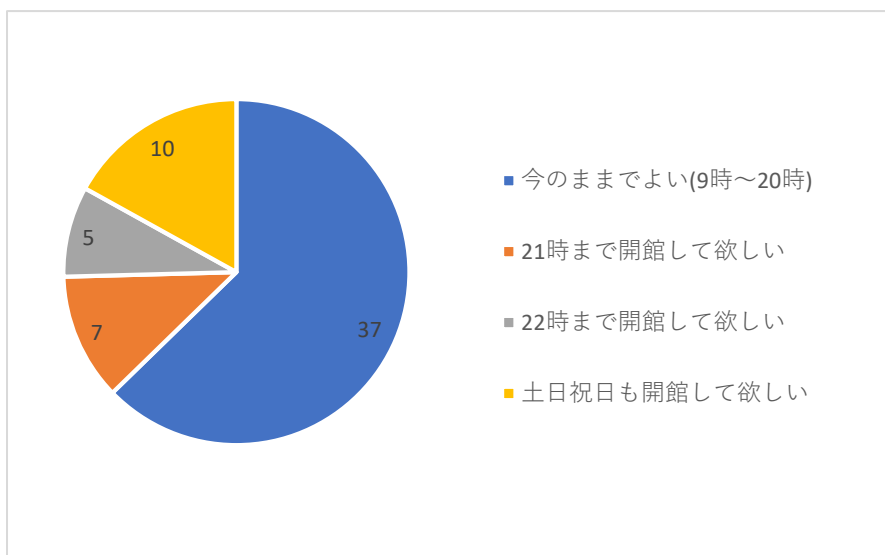
10. 主にどの分野の図書を利用していますか（複数回答可）

自分の専門分野図書の利用がもっと多かった。利用目的（授業の予習復習）による傾向であると思われる。自分の趣味に関する分野図書の利用も少ないながらも挙げられている。



11. 図書館の開館は何時までがいいと思いますか(複数回答可)

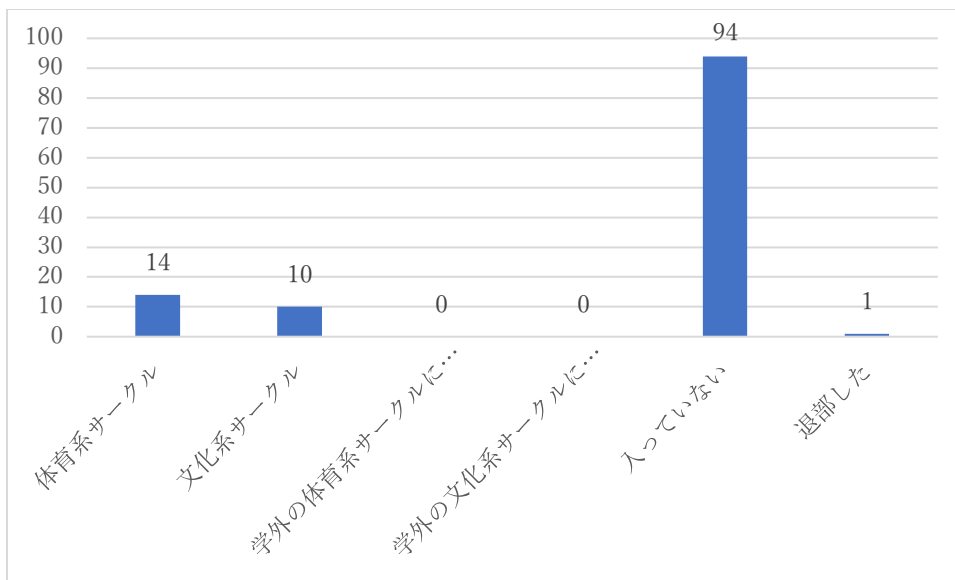
今のまま（9～20時）がもっとも多かった。時間延長（21時、22時）や土曜日曜の開館を希望する意見もあったが、スクールバスの運行時間に合わせての利用者もいると考え、20時の意見が最も多いのではないかとかがえられた。



第Ⅲ章 課外活動

12. どのようなサークルに入っています(入っていました)か（複数加入している場合は主に活動しているもの）

1番多いのが「サークルには入っていない」で、次に「体育系サークル」、「文化系サークル」の順となっている。

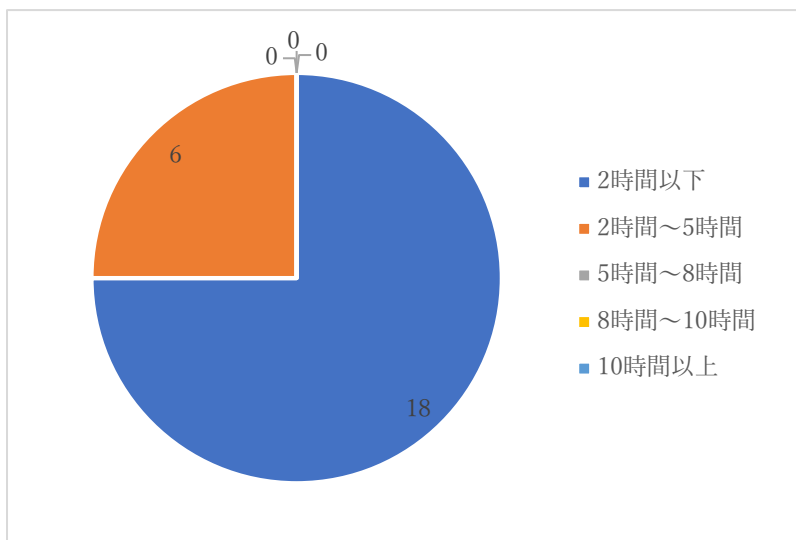


13. サークルに入った理由はなんですか(自由記述)

運動をして体を動かしたい、という理由が多かった。

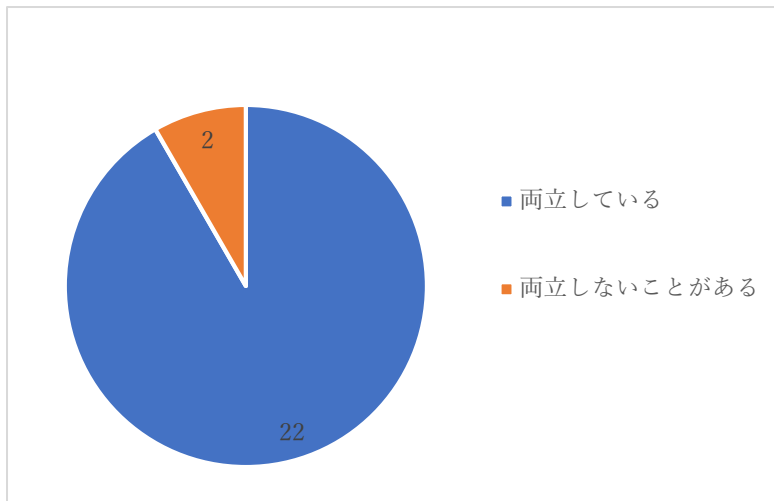
14. サークルでは1週間当たりどれくらい活動しますか

時間割の都合上からも、2時間以下の学生が最も多かった。

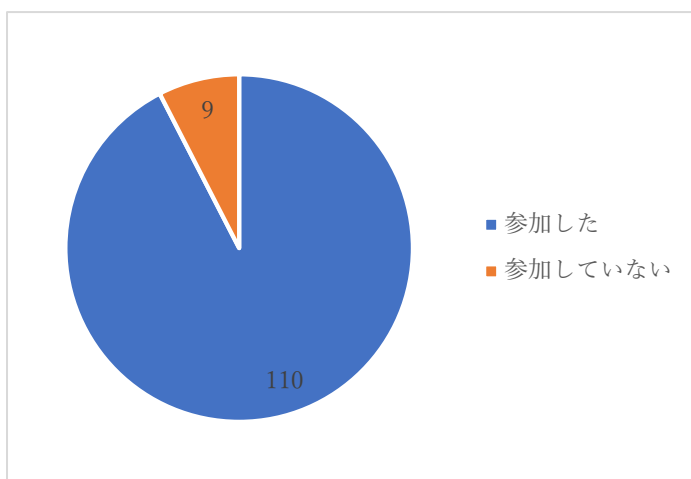


15. サークル活動と勉強は両立していますか

サークルに入っている学生のほとんどが勉強と両立させて大学生活を送っている。



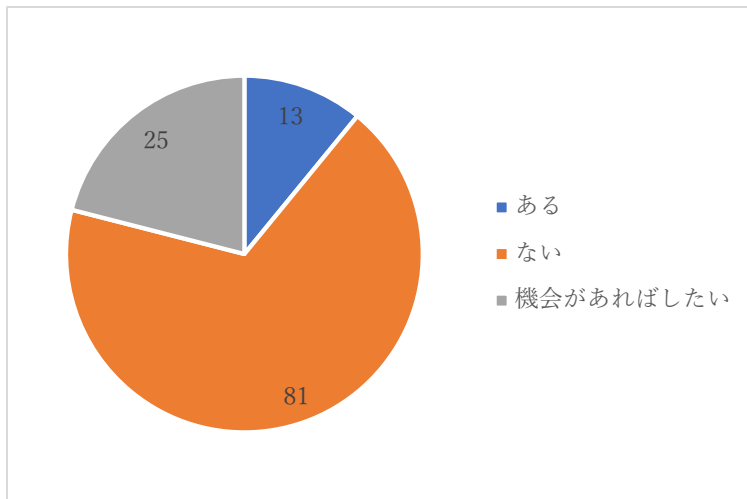
16. 今年度の大学祭に参加(出席)しましたか
ほとんどの学生が参加をした。



17. なぜ大学祭に参加(出席)しなかったのですか(自由記述)
「体調不良のため」や「実習」等の他に、「魅力がないため」等の回答がわずかにあった。

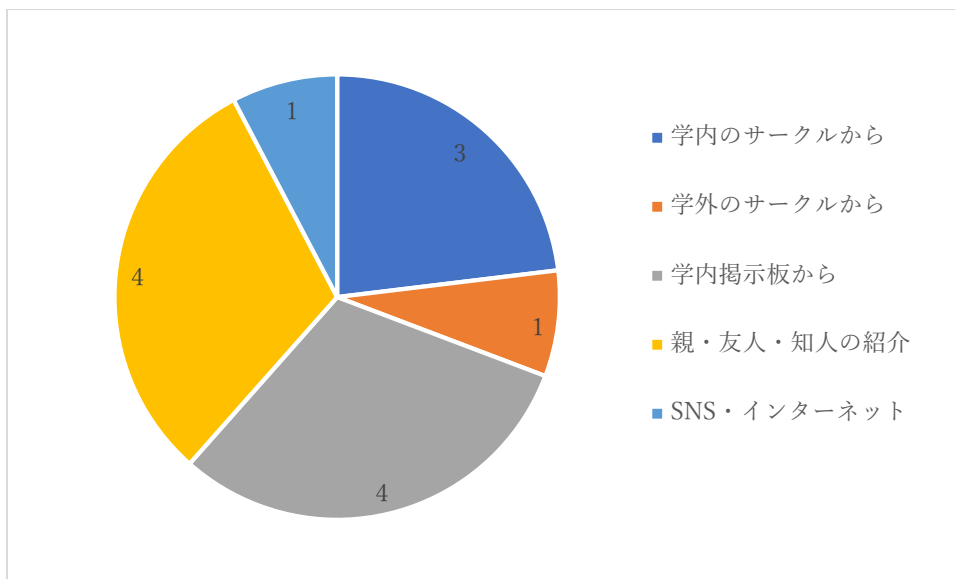
第IV章 ボランティア活動

18. ボランティア活動をしたことがありますか
あると答えた学生が約 1 割であるが、機会があればしたいと答えている学生が約 2 割おり、上手く情報が得られていないことが見受けられる。



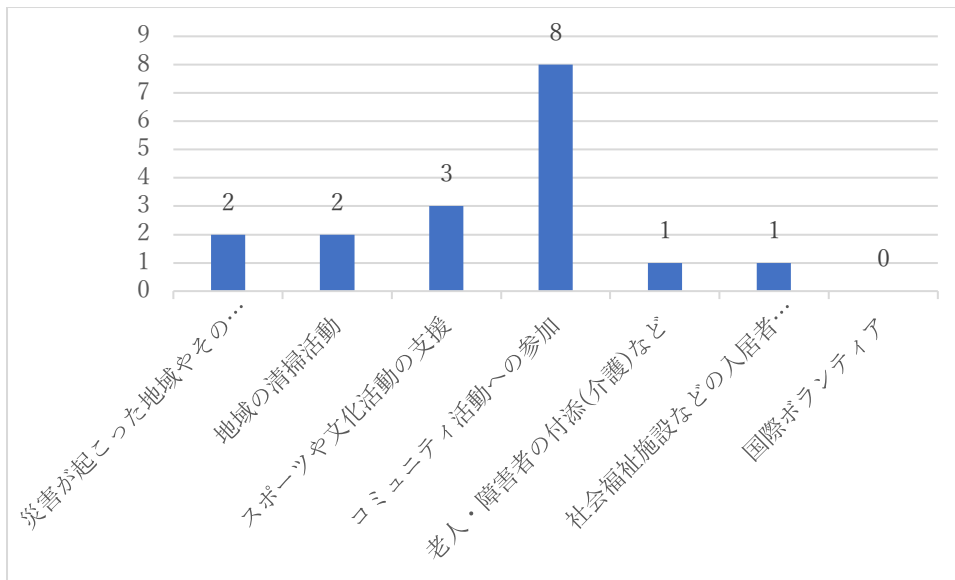
19. ボランティア活動の情報をどこから入手しましたか

学内の掲示板と学内のサークルからを合わせると約5割が本学内のコミュニティから情報をえいていることが分かった。



20. 実際に行ったボランティア活動はどのような内容のものでしたか(複数回答可)

コミュニティ活動への参加が多くを占めていた。

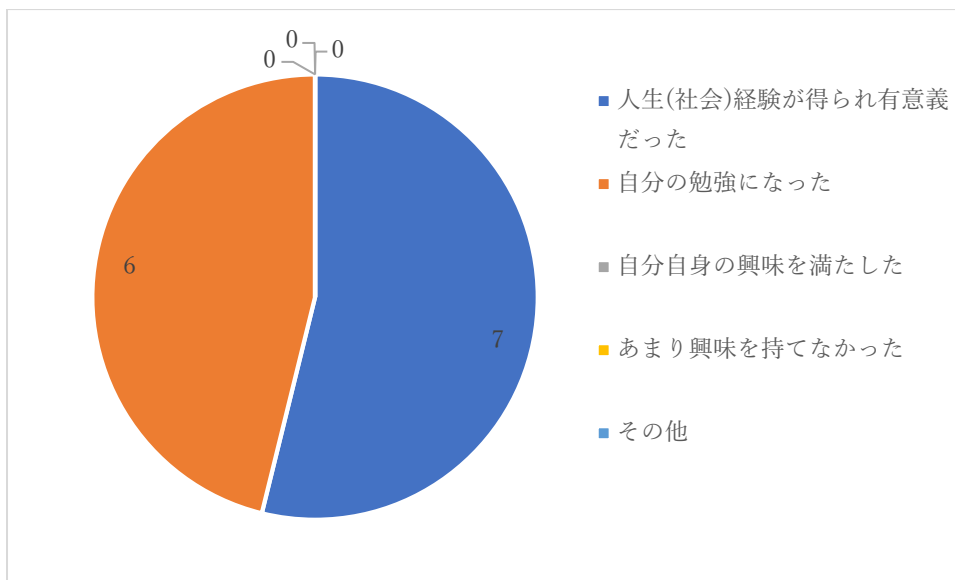


21. ボランティア活動に何回参加したことがありますか(記入例：1回)

3～5回参加している学生が約5割おり、中には数えきれないほど参加していると回答している学生もいた。

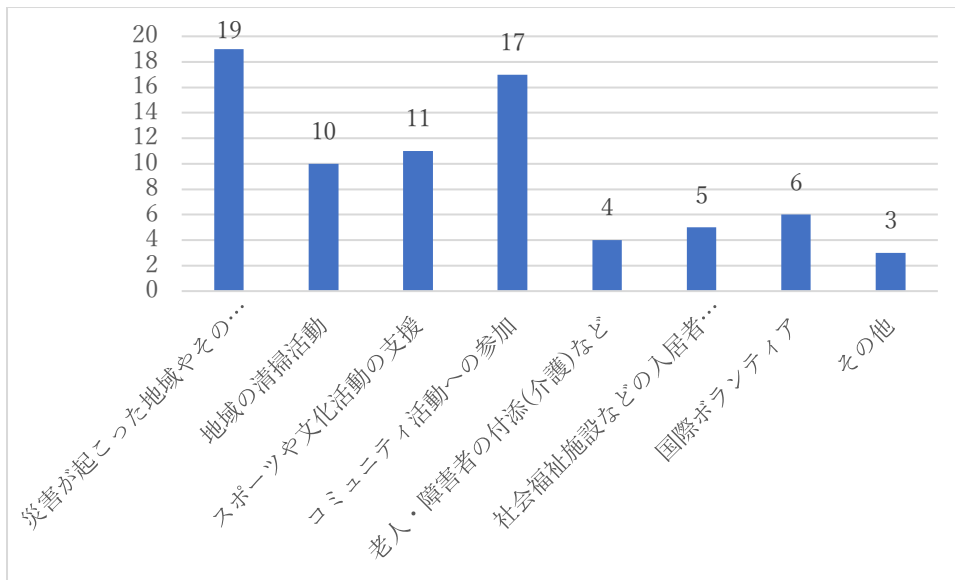
22. ボランティア活動に参加してどうでしたか

人生経験が得られ有意義だったと感じた学生と自分の勉強になったと感じた学生が約半分ずつであった。



23. どのようなボランティア活動に興味がありますか(複数回答可)

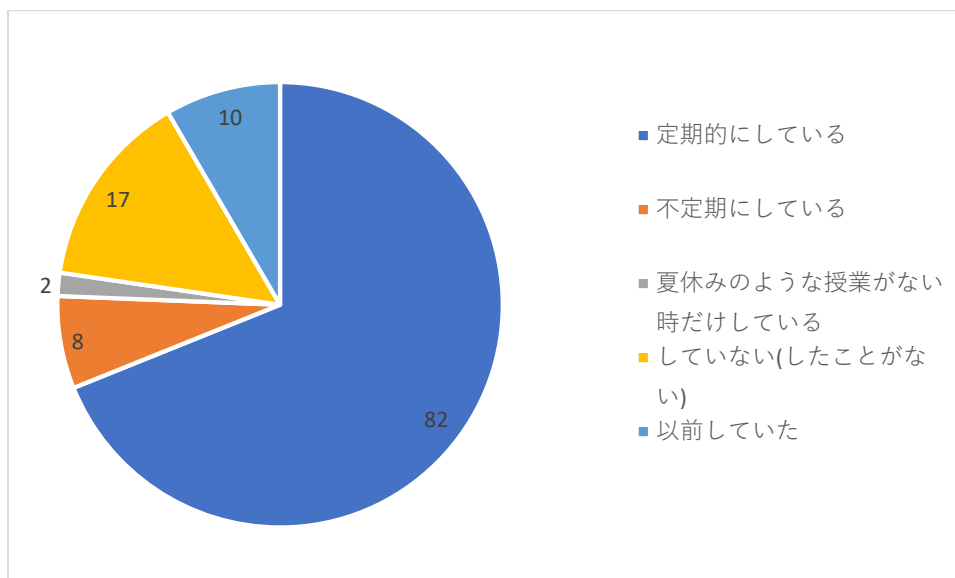
災害が起こった地域やその被災者の救助活動に興味があると答えた学生が一番多かった。



第Ⅴ章 アルバイト

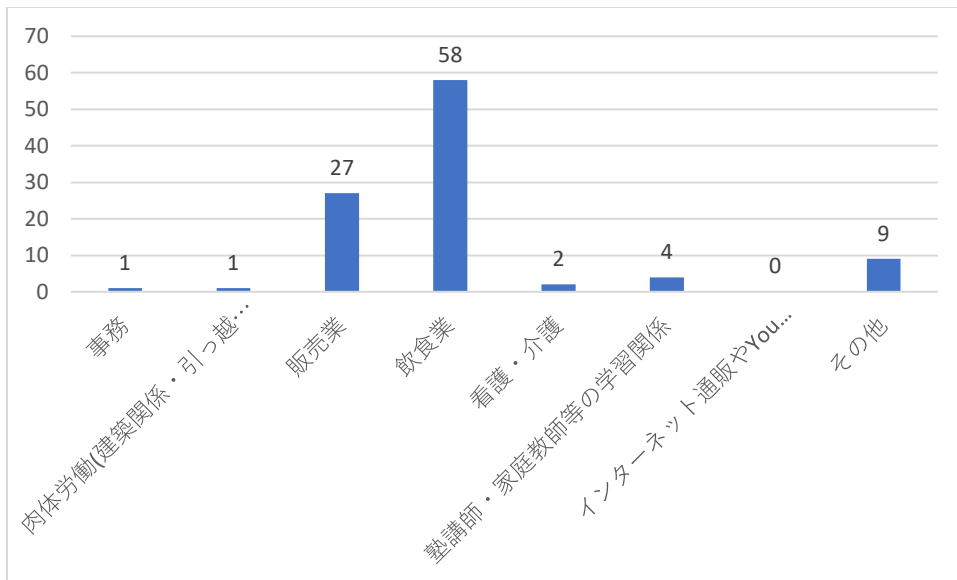
24. アルバイトについてうかがいます

学生の6割以上は定期的なアルバイトをしているという回答が得られている。生活費や社会的コミュニケーションをとるための手段として必要なことであるかもしれないが、学業に対し不安が生じる可能性がある。



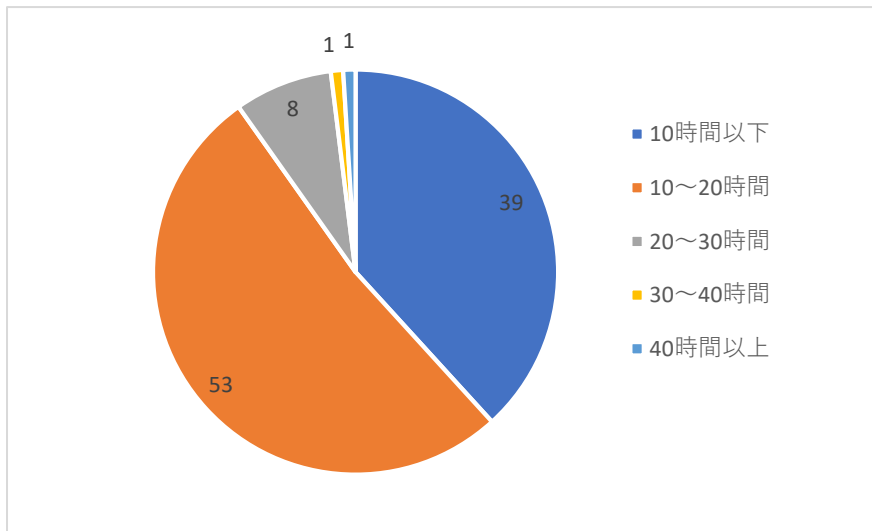
25. どのようなアルバイトをしていますか(していましたか)

飲食系のアルバイトをしている学生が非常に多い。飲食となると体力的な部分も生じるために夜遅くまでアルバイトをするのは推奨されない。



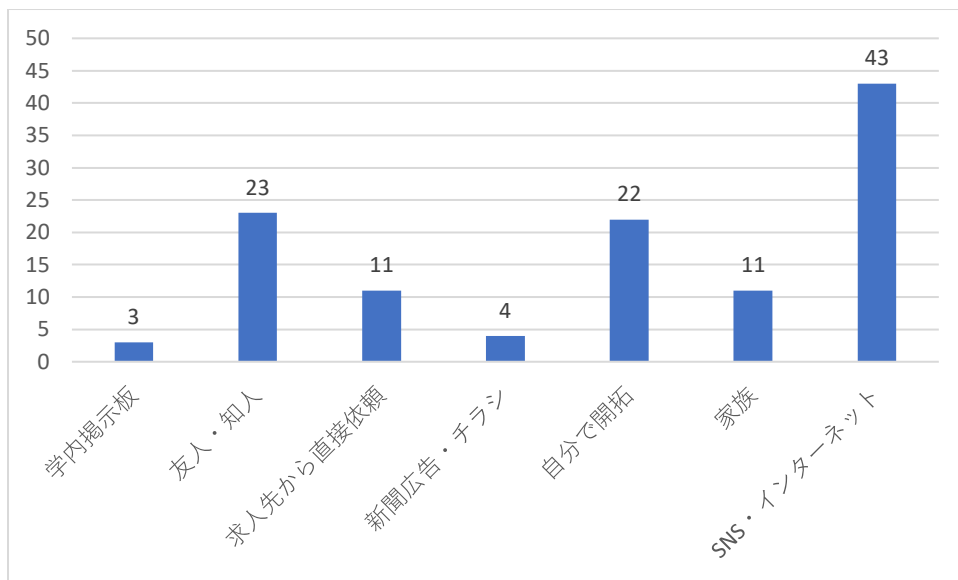
26. アルバイトは1週間の平均で何時間くらいやっていますか

おおむね半数以上が週に10～20時間アルバイトをしている。週に5日アルバイトをしているとすれば一日当たり2～4時間という計算になるが、大学終了後4時間のアルバイトは少々きついのではないか。



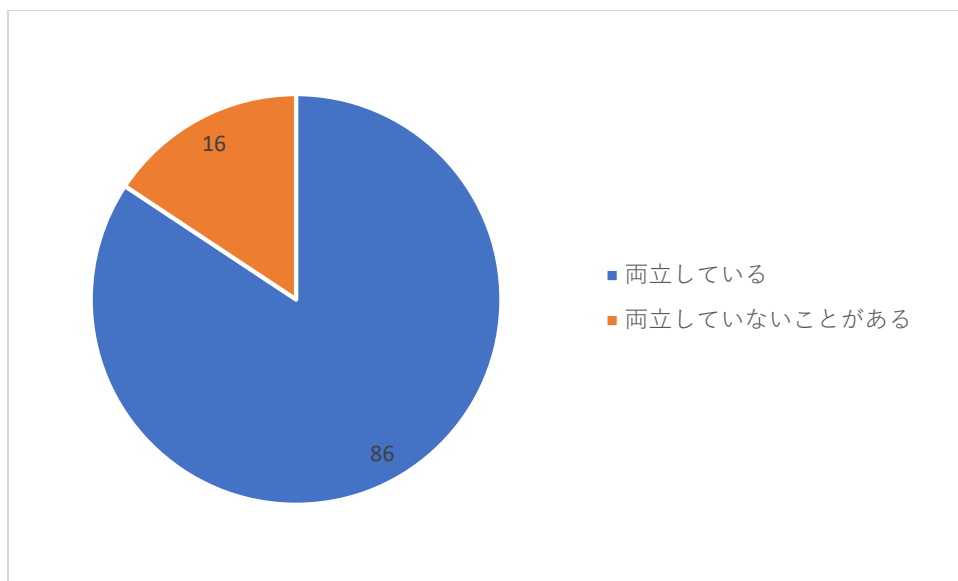
27. アルバイトの情報をどこから入手しましたか(複数回答可)

アルバイト情報は多くがSNSで知って、そこでアルバイトを行っているという状況である。一概に悪いとは言えないが、必ず一度はアルバイト先の方と対面を行う必要があると考えられる。



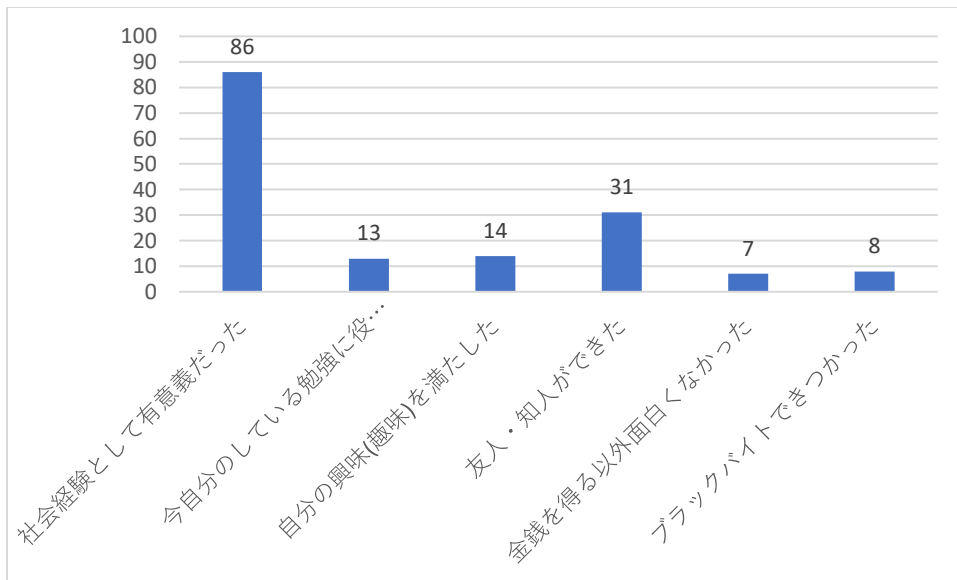
28. アルバイトと学業は両立していますか

約8割が学業とアルバイトを両立しているという回答となっている。本当に両立しているのであれば問題ないが、少なからず学業に差支えがあると少々疑問が生じる。



29. アルバイトをしてどうでしたか(複数回答可)

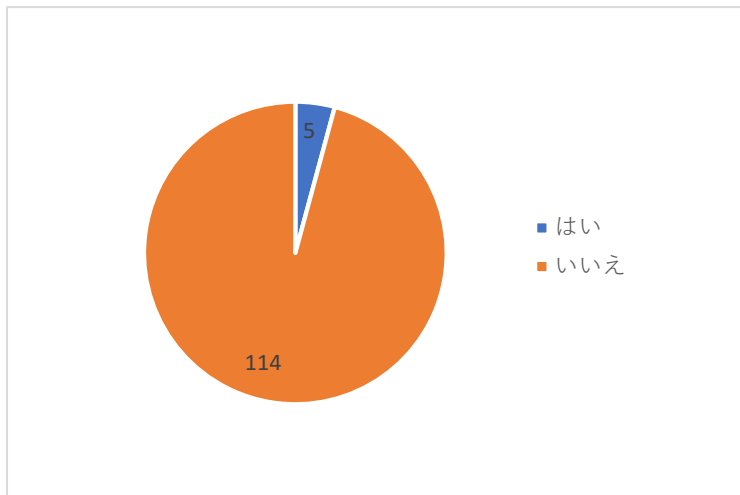
大半がアルバイトをすることによって社会的コミュニケーションが取れたという回答が得られている。大学卒業後、社会に出ていくにあたって必要な内容であると考えられる。



第VI章 学生生活

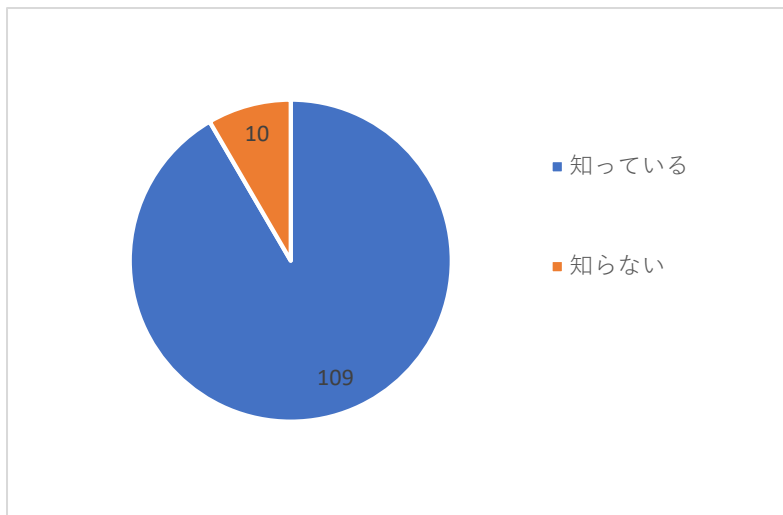
30. あなたは喫煙しますか

喫煙をしていない学生の割合は約 98%であった。



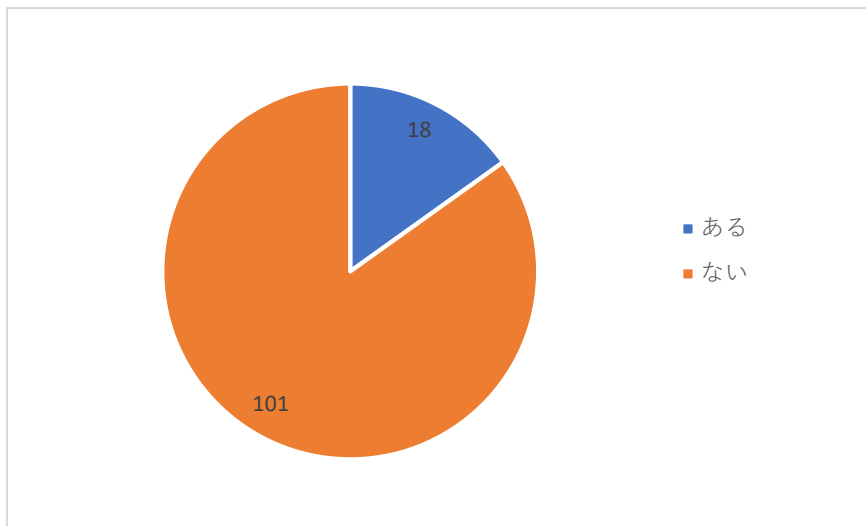
31. 学内は全面禁煙である事は知っていますか

本学内が全面禁煙である事を知っている学生の割合は約 90%であった。



32. 現在、何かに悩んでいることがありますか

何らかの理由で悩んでいる学生が全体の約 15%いることが分かった。



33. どのようなことに悩んでいますか。(記入例：学業に関する不安・人間関係等)

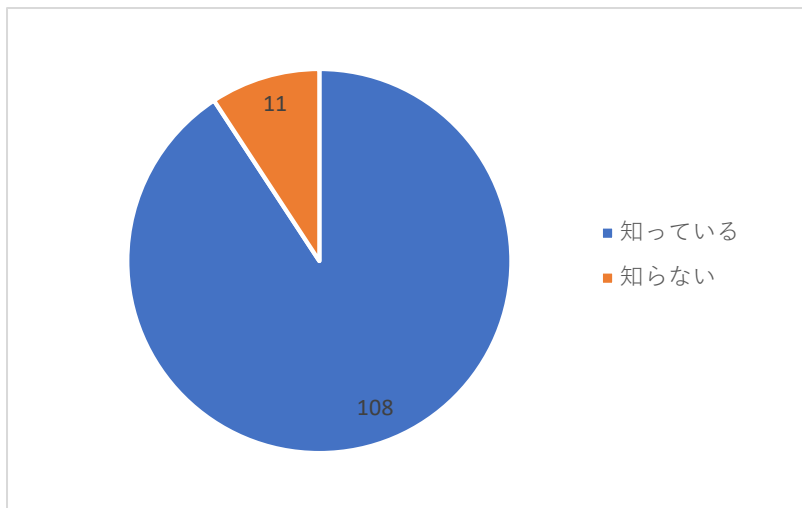
上記の中で人間関係で悩んでいる学生が全体の 4%、次いで学業・国試に関する不安を抱いている学生が 3%、実習、就活、将来に不安を抱いている学生がそれぞれ 2 %いた。(全体=回答者 119 名)

34. 悩みがあると、誰に相談しますか(記入例：保護者等)

悩みの相談相手に保護者や親・家族、友人と回答した学生がそれぞれ全体の約 8%、教員が 3%、相談しないまたは自己解決していると回答した学生が約 2%いた。(全体=回答者 119 名)

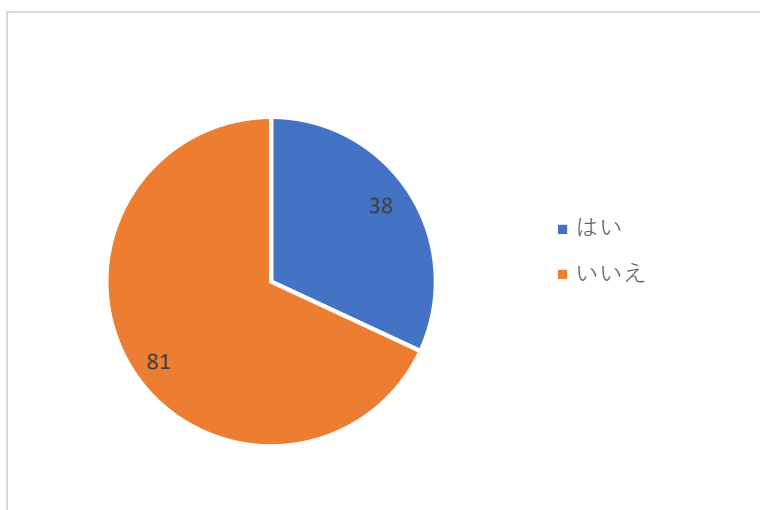
35. 保健室がある事を知っていますか

全体 119 名の中で、知っている 108 名(90.7%)、知らない 11 名(9.3%)であり、多くの学生に周知されているが、存在そのものを知らない学生もいた。10 名中に 1 名は知らないことになる。



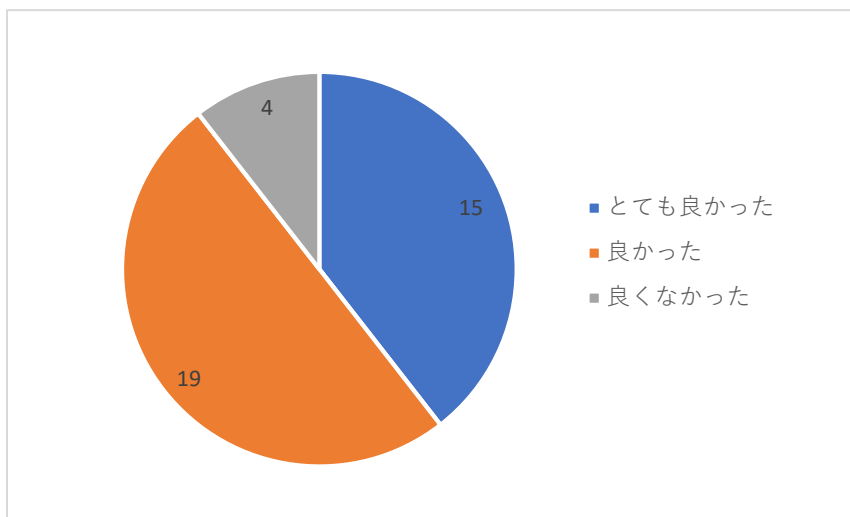
36. 保健室を利用した事がありますか

全体 119 名の中で、利用したことがある学生は 38 名(31.9%)、利用したことがない学生は 81 名(68.1%)であり、3 名中に 1 名くらい利用している。同じ学生が何回利用は不明である。



37. 保健室を利用した時の印象はどうでしたか

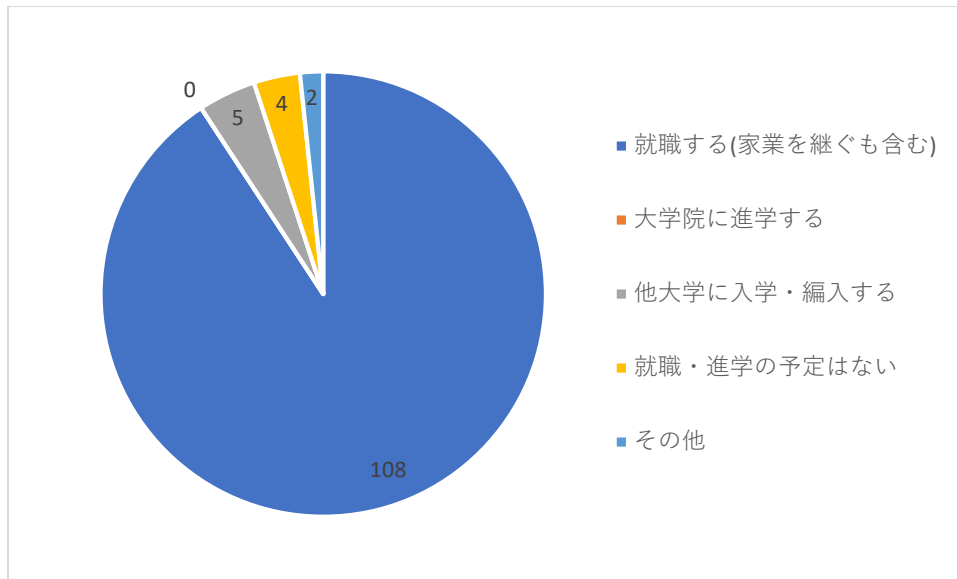
回答者 38 名中で、とても良かった 15 名(39.5%)、良かった 19 名(50.0%)、両方で 34 名(89.5%)は良いと回答していた。よくなかったのは 4 名(10.5%)、38 名の解答の中の 10 名に 1 名は良くなかったことになる。



第Ⅶ章 進路(就職・進学)

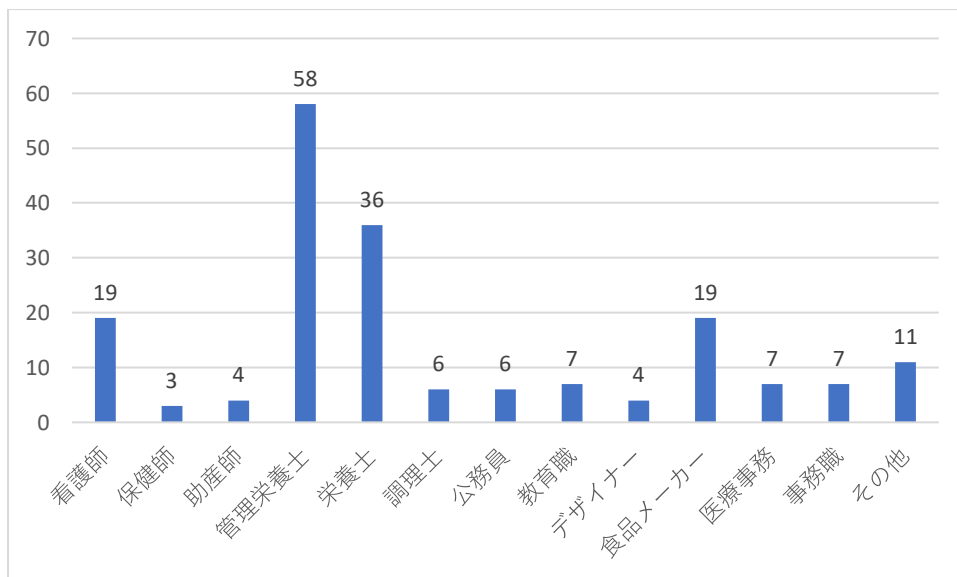
38. 卒業後はどのような進路を考えていますか

9 割の学生は就職を希望していた。



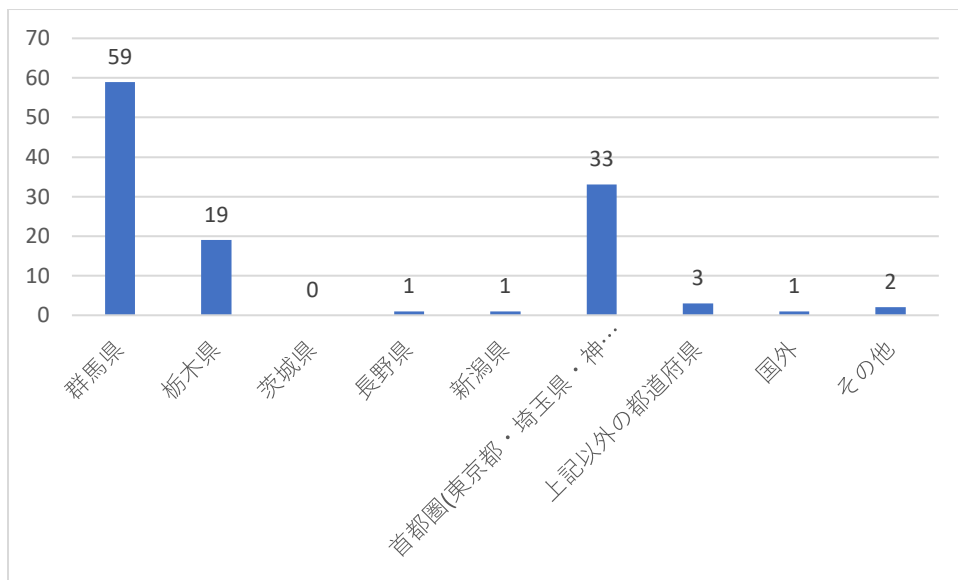
39. 卒業後、どのような職業に就きたいですか(複数回答可)

大学で取得した資格が生かせる職業を希望している（管理栄養士、看護師、栄養士等）。



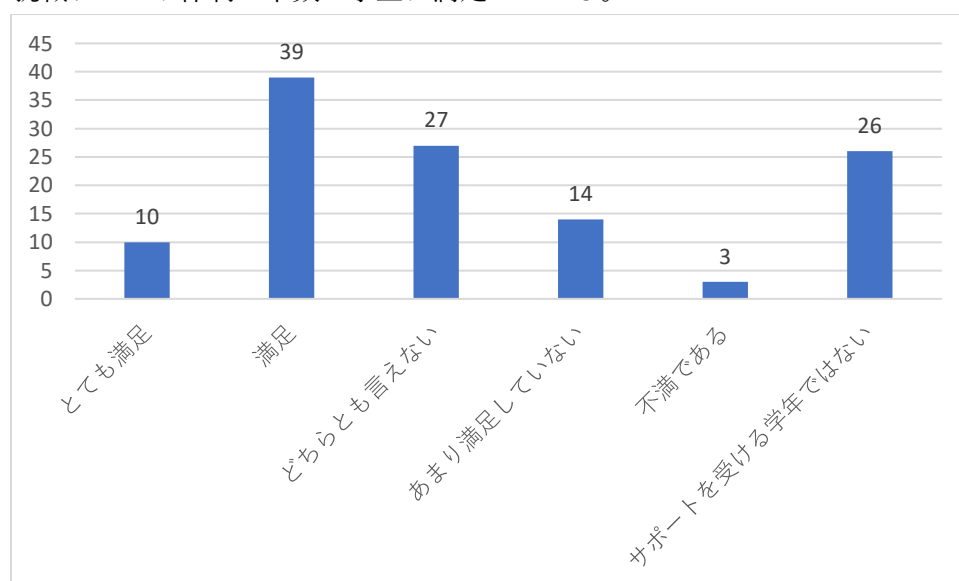
40. 就職する地域はどこを希望していますか

約半数の学生は大学所在地である群馬県に就職希望者していた。次は首都圏であった。



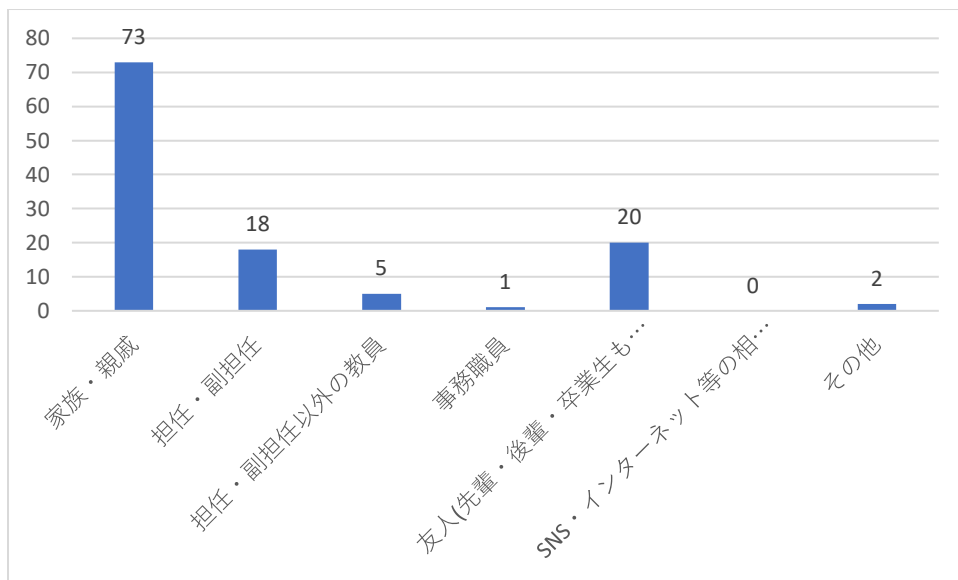
41. 本学の就職のサポート体制に満足していますか

就職サポート体制に半数の学生は満足している。



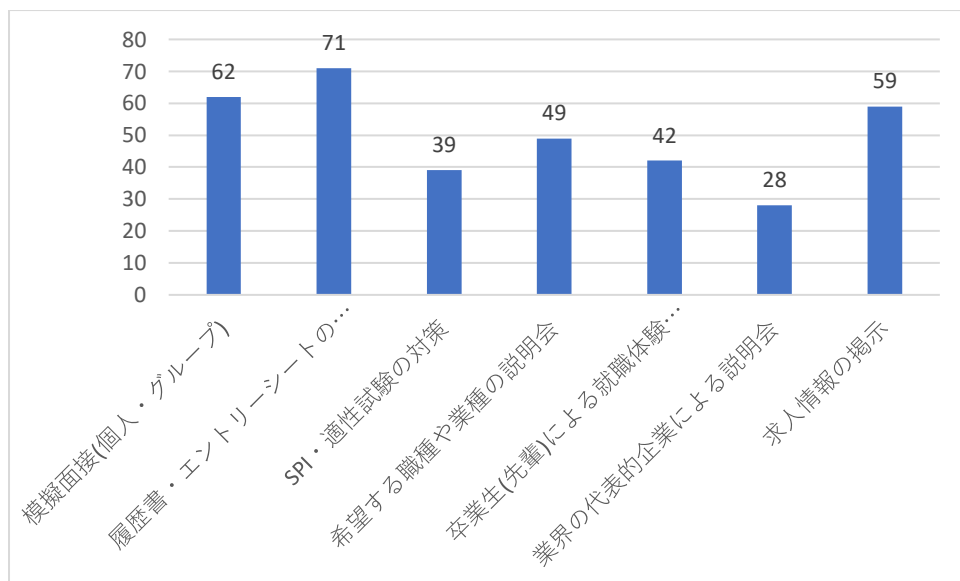
42. 就職の相談は誰にしますか

就職の相談は6割の学生は身近にいる家族に相談している。次は担任や友人であった。



43. 本学の就職のサポート体制に対してどのようなことを希望しますか(複数回答可)

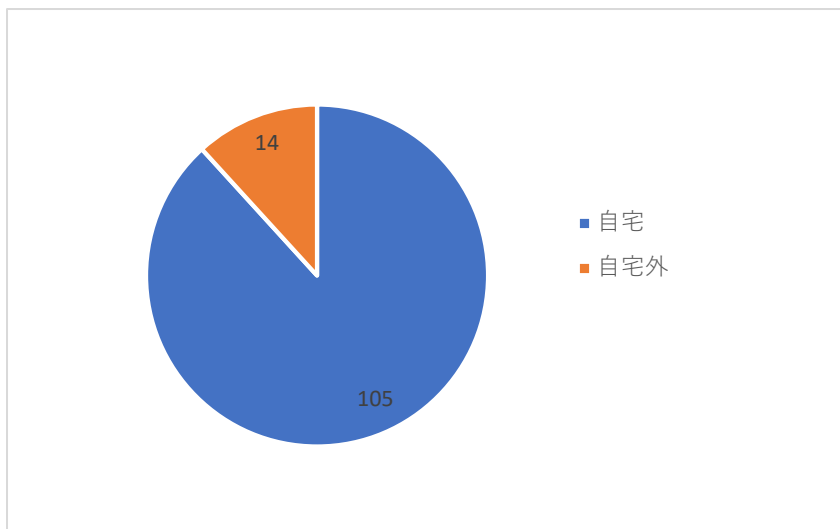
サポート体制の中身として、履歴書の書き方、面接の仕方など合格するための具体的な内容を希望していた。



第Ⅷ章 住居・通学

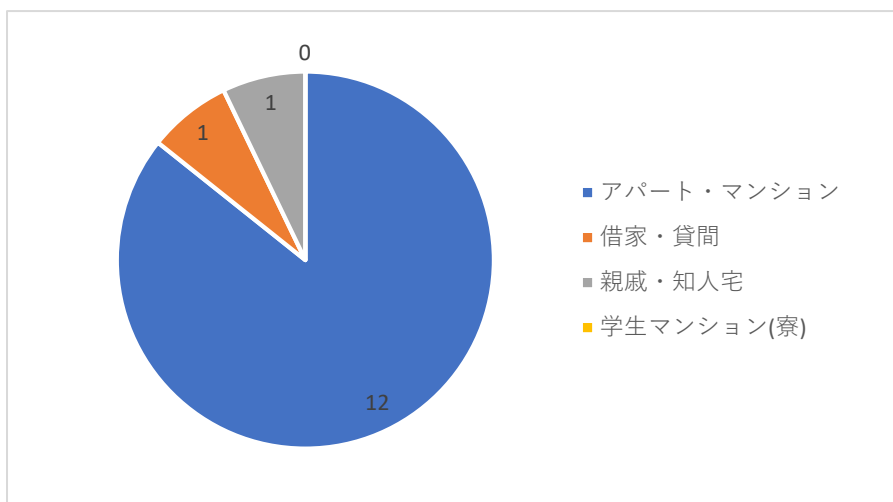
44. 住んでいるのは自宅ですか。自宅以外ですか

88%の学生は自宅となっている。



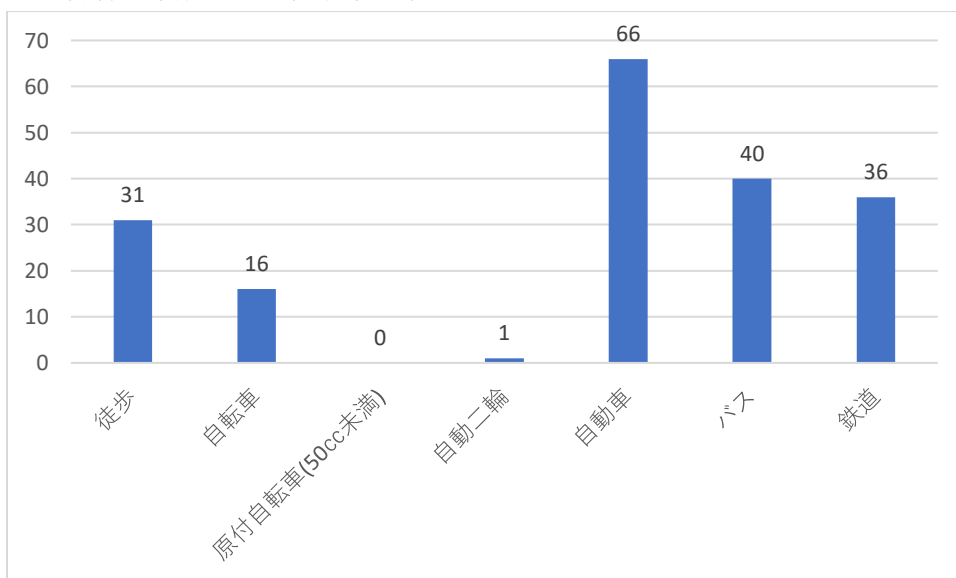
45. 自宅以外なら、どのような所ですか

アパート・マンションに住んでいる学生は 85%である。



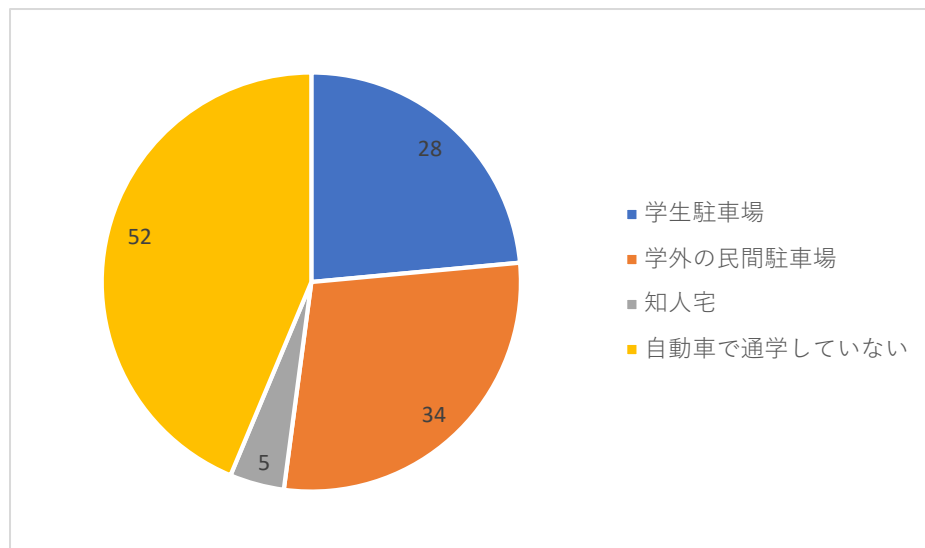
46. 本学まで主にどのような交通手段を使っていますか(複数回答可)

回答者の半数以上が自動車通学であった。



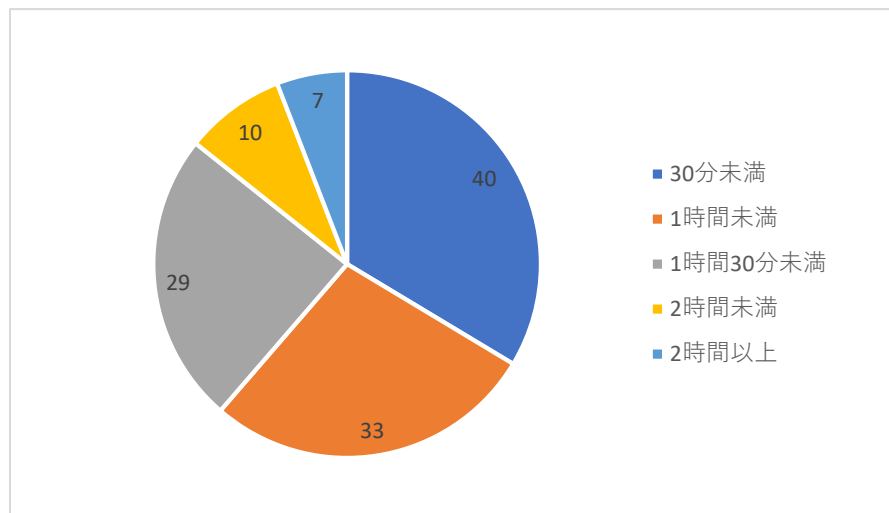
47. 自動車で通学している場合、どこに駐車していますか

学生駐車場と近隣の民間駐車場を契約している学生は多数であった。



48. 通学にかかる片道の所要時間はどれくらいですか

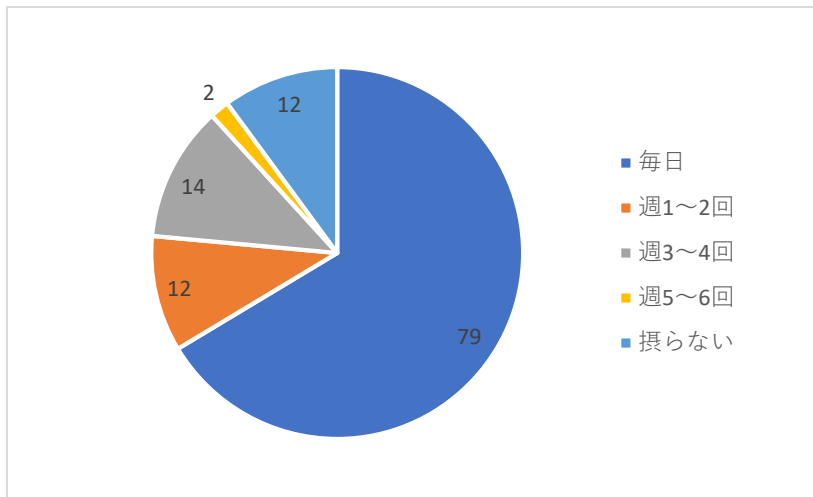
片道1時間以内の学生が全体の64%であった。



第IX章 食生活

49. 朝食を摂っていますか

朝食を毎日摂っている学生が6割程度いるが、全く摂らない学生も1割程度いる

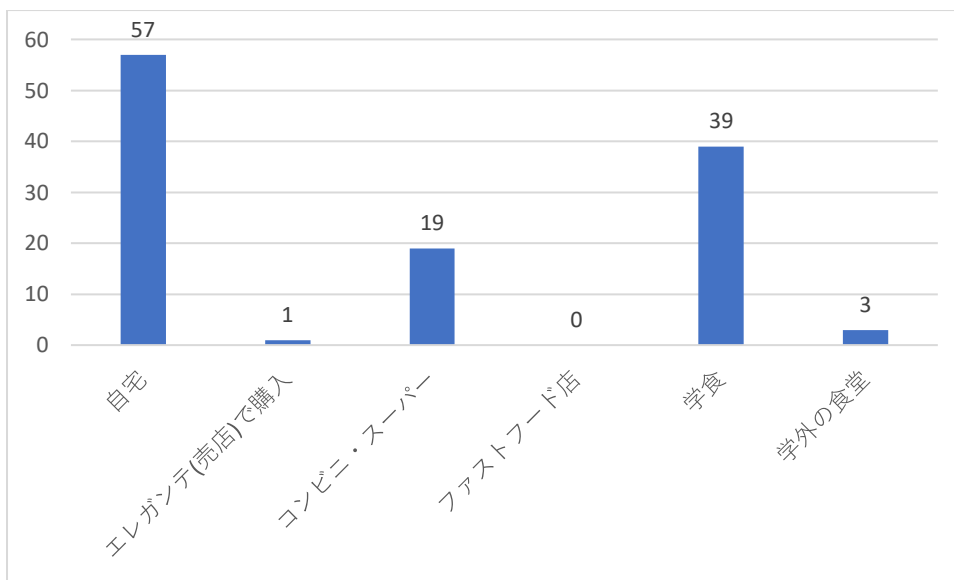


50. 朝食を摂らない理由は何ですか

ほとんどの学生が、時間がないからと答えているが、食えると気持ちが悪くなるという学生もいる

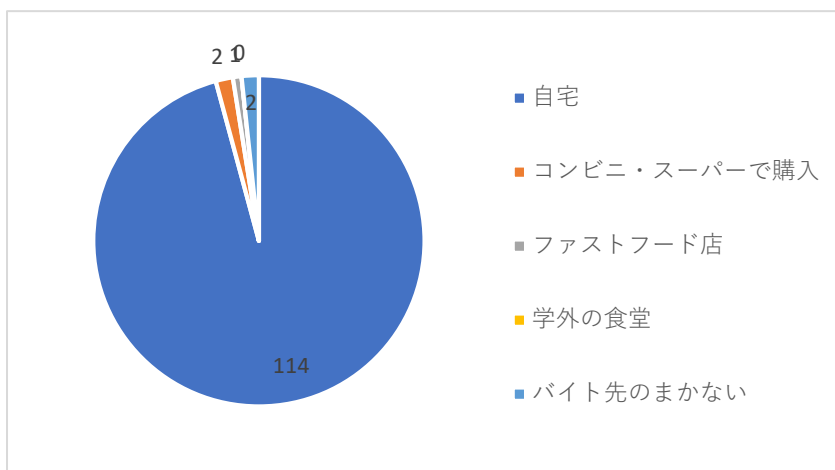
51. 昼食はどのようにしていますか

自宅から持ってくる学生が最も多く、次いで多いのが学食の利用である



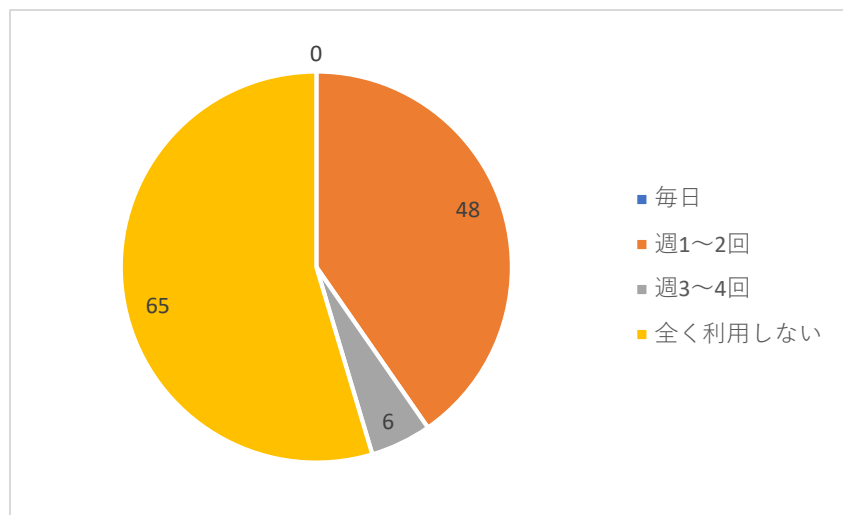
52. 夕食はどのようにしていますか

自宅で食べる学生が9割以上を占めている



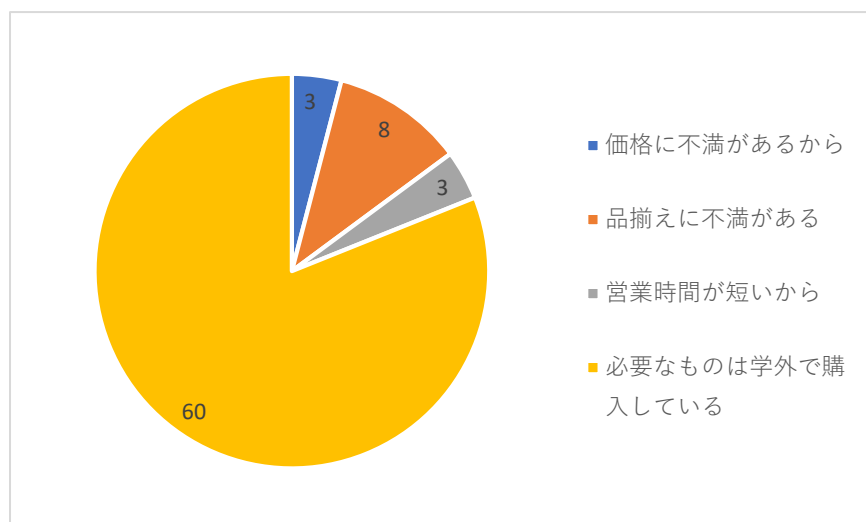
53. エレガンテ(売店)は週にどれくらい利用していますか

エレガンテを毎日しようする学生は0で、全く利用しない学生が5割以上いる。



54. エレガンテ(売店)を利用しない理由は何ですか(複数回答可)

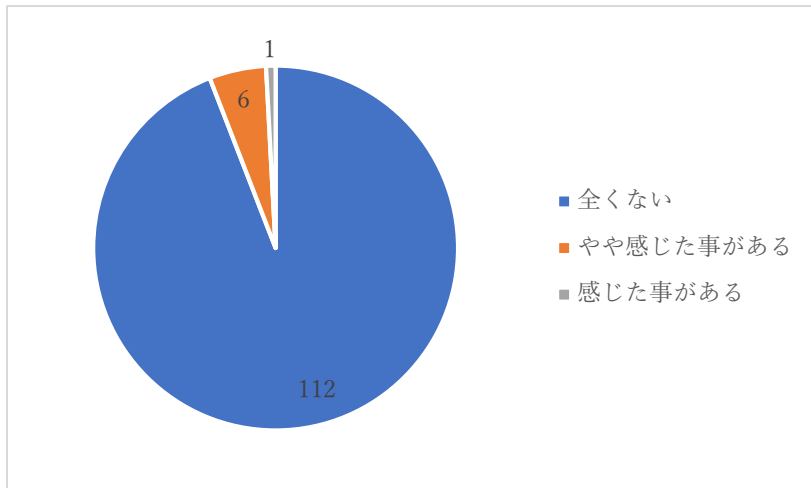
必要なものは学外で購入している学生がほとんどを占めており、次に多いのが品ぞろえに不満があるからと答えた学生である。



第X章 その他

55. 本学は自由に外部の人が出入りできるようになっていますが、それによって学内で身の危険や不安を感じたことがありますか(大学周辺も含む)

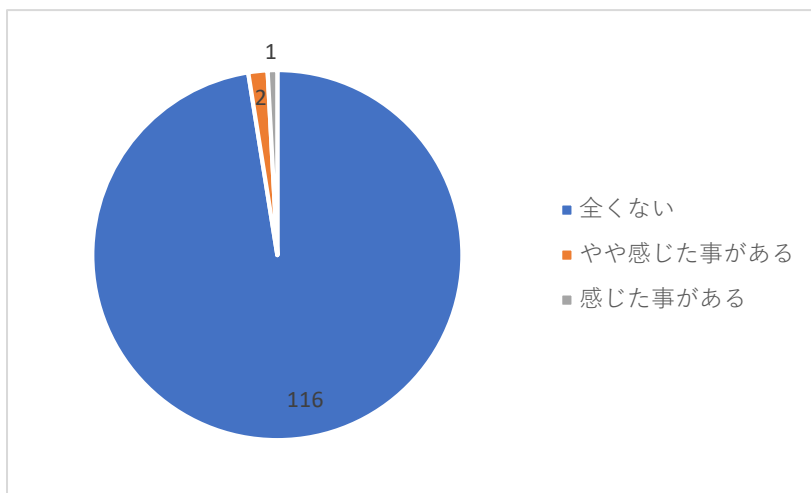
回答した94.1%の学生が学内で身の危険や不安を感じたことが全くないという結果になった。



56. どこで、危険や不安を感じたか具体的に記入してください

「やや感じた事がある」「感じた事がある」7件の回答では、不審者について触れているものが5件あり、実際に不審な声かけ被害を目撃している回答もあることから、外部の人の出入りや不審な行動があった場合の対応について確認が必要ながことが示唆された。

57. 本学は自由に外部の人が出入りできるようになっていますが、それによって学外で身の危険や不安を感じたことがありますか(大学周辺も含む)



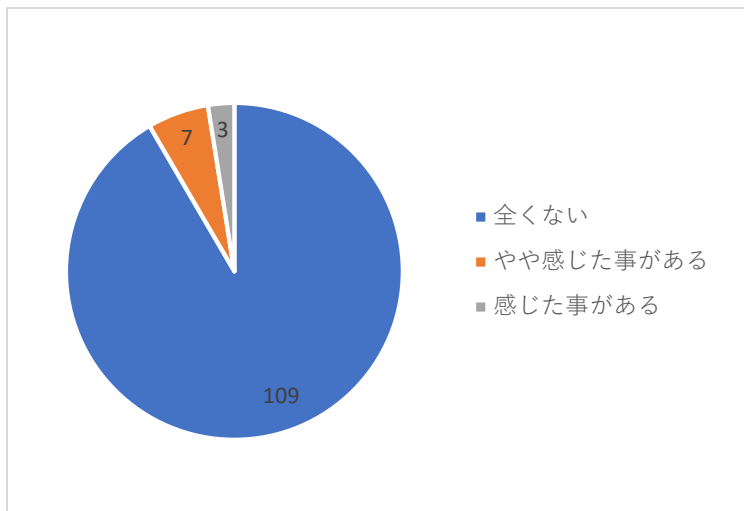
回答した 97.5%の学生が学外で身の危険や不安を感じたことが全くないという結果になった。

58. どこで、危険や不安を感じたか具体的に記入してください

3件の回答では、質問 56 と重複したものとなり、不審者の目撃や注意喚起を受けて危険や不安を感じたという結果となった。外部の人との学内外での関わり方や不審な行動への対応について考えて行かなければならない。

59. ジェンダーバイアス(男女の違いによって生じる偏見、評価や差別)を感じたことがありますか

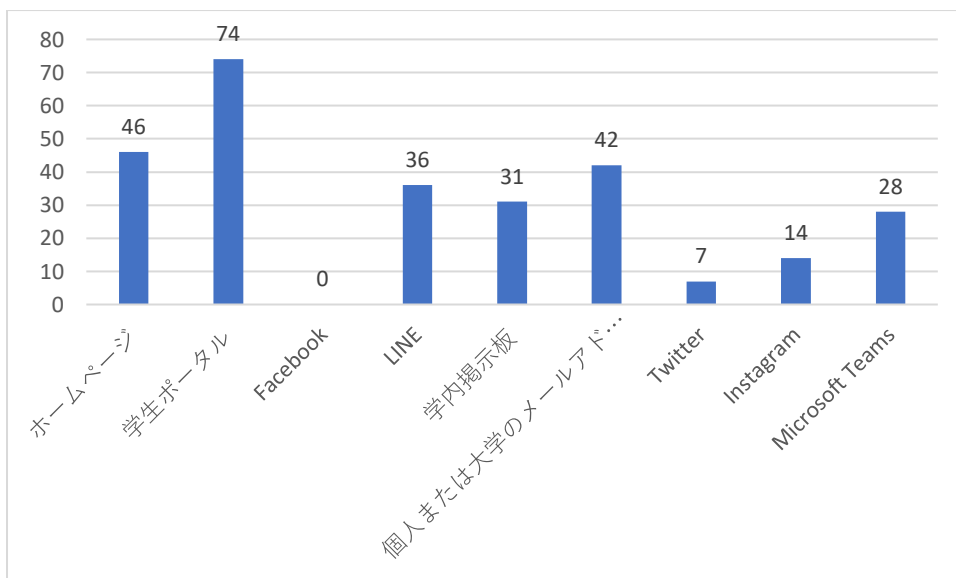
回答した 91.6%の学生がジェンダーバイアス(男女の違いによって生じる偏見、評価や差別)を感じたことがないという結果になった。



60. どのような場面で感じたか具体的に記入してください

10 件の回答では、講義や教員の発言、行動などからジェンダーバイアスを感じている内容が 7 件となり、教員側の意識について問われる結果となった。

61. 大学からの学生への情報の発信の媒体として何がいいと思いますか(複数回答可)



学生は、共通する情報はホームページや学生ポータルでの送信を望んでいる。また個人への連絡は teams やメールでの提供が望ましいと考えている。情報提供先はあまり多くならないほうがよいと学生は考えている。

62. 桐生大学内の生活の中で、不満に思うことはありますか(特にない場合は特になしと記入してください)

21 件の意見が寄せられた。いずれも不満に思っている内容である。以下、いくつかの意見を①~⑤として示したい。①建物の管理について、たとえばトイレや教室の管理がいきとどいていないのではないかと。②事務職員の態度が気になる。③レストランの座席が少ない。④情報提供が遅い。⑤レストランのメニューを増やしてほしい。

63. 桐生大学内の生活の中で、大学に対して改善してほしい点はありませんか(特にない場合は特になしと記入してください)

22 件の意見等が寄せられた。62 の質問への回答と重複するものも見られるが、例えば以下のようなコメントが寄せられている。この生活実態調査アンケートへのフィードバックがなされていない、教室やレストランのイスを直し、また数を増やしてほしい、教室を広くしてほしい、学習スペースを増やしてほしい、バスの本数を増やしてほしいなどの要望などであった。

64. 協力ありがとうございました。意見などがあったら、記入してください(特にない場合は特になしと記入してください)

6 件の意見が寄せられた。学生生活実態調査で意見を述べたが、改善されない、アンケート実施は意味がないのではないかという意見、授業アンケートが授業実施後にしかないのでは意味がない、などである。62,63,64 のアンケートへの回答は、大学・短大として重く受け止め、改善できることは速やかに改善し、また現時点では難しい件については丁寧に状況を説明する必要がある。

巻末資料

1. 委員会構成メンバー

学生委員会

橋爪 博幸	短期大学部生活科学科	学生委員会委員長
川上 智史	医療保健学部栄養学科	学生委員会副委員長
久保田 隆子	医療保健学部看護学科	
神戸 美恵子	医療保健学部栄養学科	
大野 治美	医療保健学部栄養学科	
関谷 果林	医療保健学部栄養学科	
古賀 裕子	別科助産専攻	
井桁 千恵子	短期大学部生活科学科	
鹿山 未優	短期大学部生活科学科	
寺村 サチコ	短期大学部アート・デザイン学科	
野村 亜希	短期大学部アート・デザイン学科	

事務

小川 由紀子	教務・学生課学生係主任
阿部 康弘	総務課主任
島宮 拓也	教務・学生課学生係職員

2024 年度調査に向けての総括

2024 年 2 月に学生生活実態調査を行い、その結果をまとめたので報告する。

調査結果から、おおむね現在の大学生活に満足していることがうかがえる。しかし一方で、アンケート結果のうちとくに自由記述の質問に対して、多数の意見や要望が寄せられている。このことは、本学の運営に関して課題が多くあることを示している。たとえば、本学においてとくに医療保健学部は卒業時に国家試験があり、勉学のことでの悩みを抱えている学生が多くいるように見える。学習面や経済面、就職情報の提供などで、学年ごとの課題や国家試験に向けての勉強ができる環境づくりをより強力に進めていくことが望まれる。

また、昼食の時間には、11 号館 1 階のレストランで食事をする光景があり、混雑することがある。座席やテーブルの数を多くし、より多くの学生が利用できるような改善ができればと思う。その他にも施設や設備の件で、多数の意見が寄せられている。改善できるところは、すみやかに直すなど目にみえるかたちで学生たちに示していければと思う。

新型コロナのまん延で、少子化の傾向がさらに強まるなか、地域社会や自治体、高等学校の先生や生徒から支持される大学・短期大学部でありつづけるために、本学が末永く存続していけるよう教職員が一丸となって問題の解決にむけて動き出すことが必須である。まず在学する学生から大学運営に理解が得られるよう、これまでの学生生活実態調査の結果を大いに活用していきたいと考えている。

2024 年 3 月

2023 年度 学生委員会委員長
橋爪 博幸